

平成28年3月期 第2四半期 決算の概要

平成27年11月19日
(株)今仙電機製作所
東証1・名証1
証券コード 7266

www.imasen.co.jp

本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

1

I. 第2四半期の状況（前年同期比較）

本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

2

百万円	前年同期実績 (H26年9月期)	当期実績 (H27年9月期)			期初予想 (H27年9月期)
			増減額	増減率	
売 上 高	55,614	58,995	3,381	6.1%	54,000
営 業 利 益	2,143	1,479	▲664	▲31.0%	1,200
経 常 利 益	2,112	1,510	▲602	▲28.5%	1,200
当 期 純 利 益 [※]	1,547	964	▲583	▲37.6%	700
1株当たり純利益	84.32円	47.07円	▲37.25円	▲44.2%	34.15円

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

POINT

北米で生産が増加したことで増収となりましたが、中国での減産影響などにより減益となりました

ご参考

USD	27/9期	120.3円	26/9期	102.47円	17.83円の円安
CNY	27/9期	19.33円	26/9期	16.64円	2.69円の円安
THB	27/9期	3.65円	26/9期	3.15円	0.5円の円安

本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

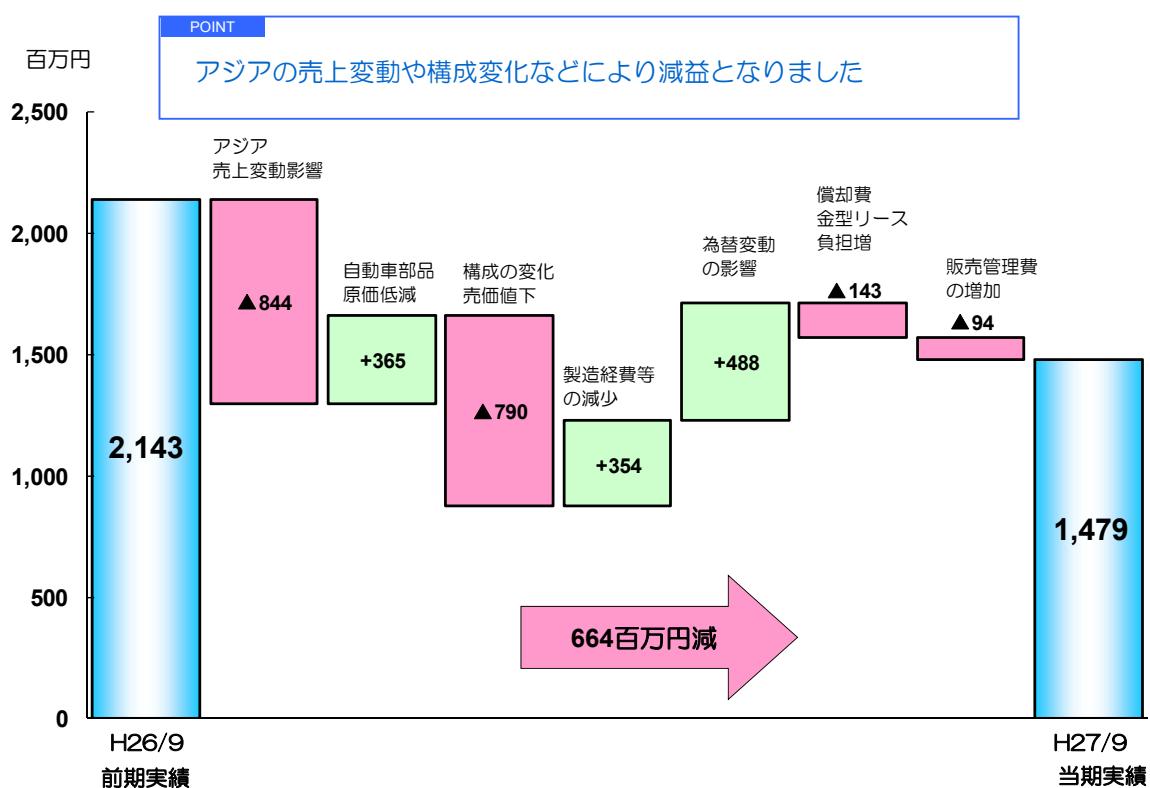
百万円	前期実績 (H27年3月期)	当期実績 (H27年9月期)			増減率
			増減額	増減率	
総 資 産	93,564	90,695	▲2,868	▲3.1%	
純 資 産	47,445	47,999	554	1.2%	
自己資本比率	50.3%	52.5%	-	-	
1 株 当 た り 純 資 産	2,293.76円	2,321.59円	27.83円	1.2%	

POINT

借入金返済を進めたことなどにより、総資産は減少しております

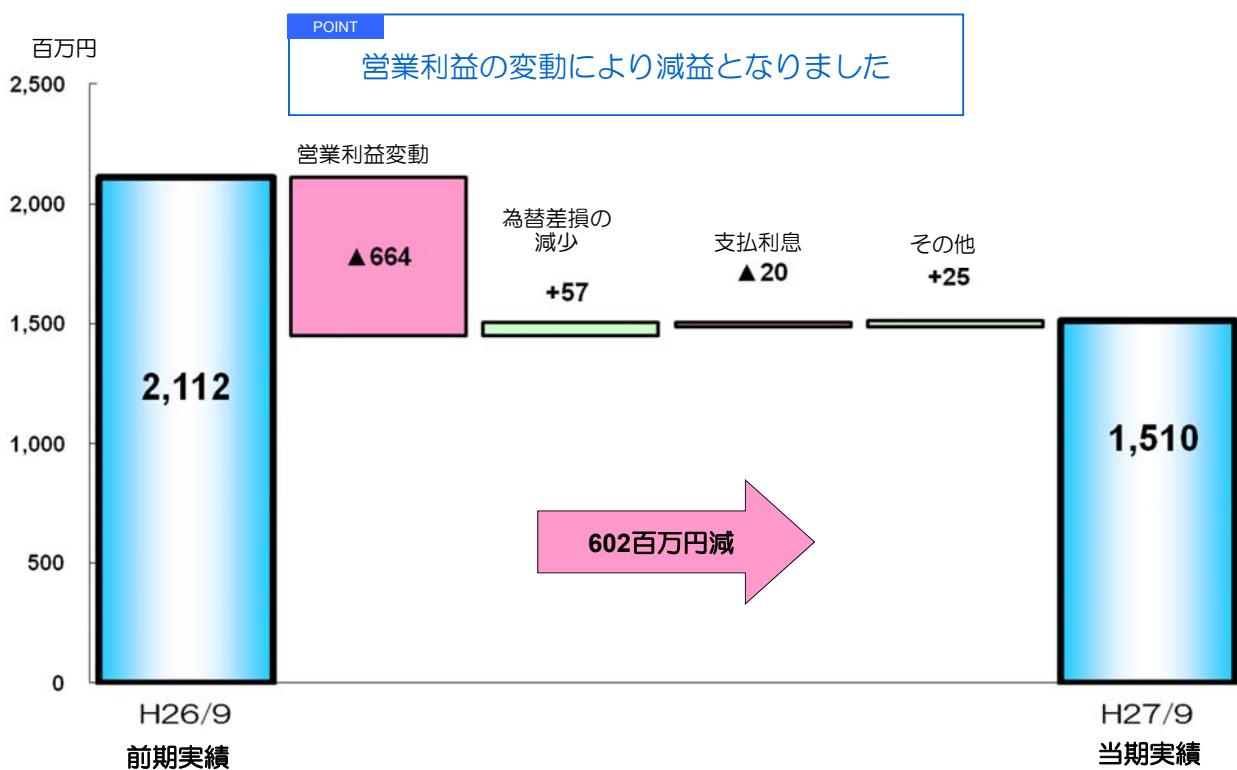
本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

2Q実績 前年同期比変動要因：営業利益

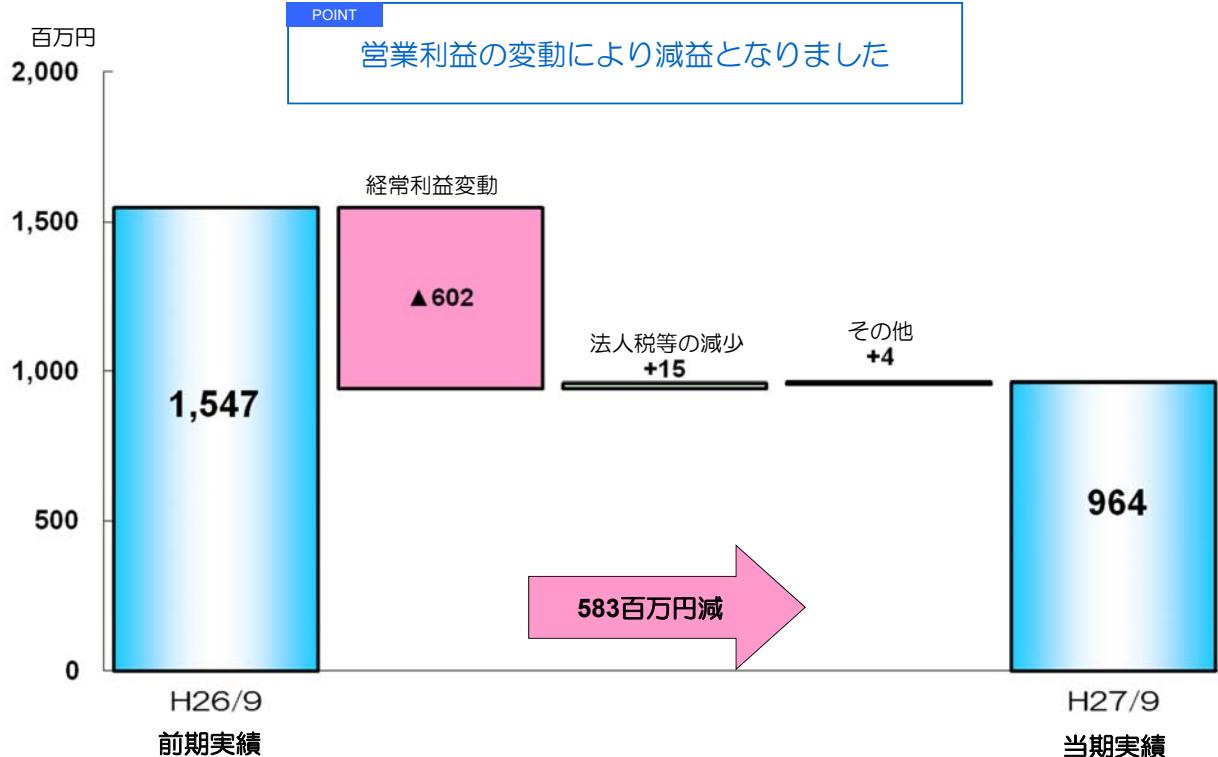


本資料の内容に関する一切の権利は株式会社電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

2Q実績 前年同期比変動要因：経常利益



本資料の内容に関する一切の権利は株式会社電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。



本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

四半期業績の推移



POINT

北米での生産増加および原価低減活動の効果により增收増益となりました

本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

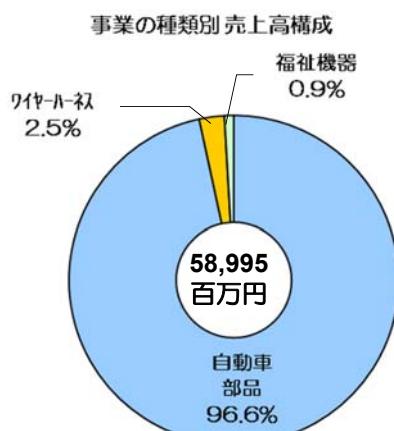
事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

IMASEN
ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

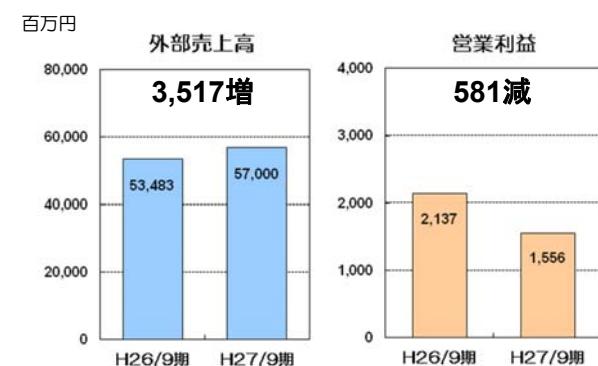
百万円	自動車部品 関連事業	ワイヤーハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	連結
外部売上高	H27/9期	57,000	1,451	543
	H26/9期	53,483	1,584	546
	増減額	3,517	▲ 133	▲ 3
営業利益	H27/9期	1,556	▲ 90	8
	H26/9期	2,137	▲ 11	15
	増減額	▲ 581	▲ 79	▲ 7
				▲ 664

POINT

- 主要事業である自動車部品関連事業において、北米での生産増により増収、中国での減産影響などにより減益となりました



■自動車部品関連事業



本資料の内容に関する一切の権利は株式会社今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

9

事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

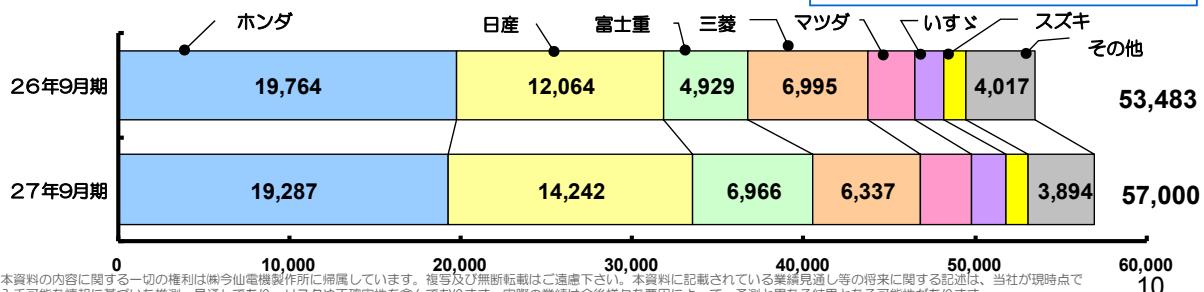
IMASEN
ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

■得意先系列別 売上高構成

百万円	前期	当期		増減	
		構成比	構成比	額	率
本田技研工業(株)	19,764	37.0%	19,287	33.8%	▲ 477 ▲ 2.4%
日産自動車(株)	12,064	22.6%	14,242	25.0%	2,178 18.1%
富士重工業(株)	4,929	9.2%	6,966	12.2%	2,037 41.3%
三菱自動車工業(株)	6,995	13.1%	6,337	11.1%	▲ 658 ▲ 9.4%
マツダ(株)	2,709	5.1%	2,972	5.2%	263 9.7%
いすゞ自動車(株)	1,701	3.2%	1,986	3.5%	285 16.8%
スズキ(株)	1,300	2.4%	1,316	2.3%	16 1.2%
ダイハツ工業(株)	500	0.9%	364	0.6%	▲ 136 ▲ 27.2%
トヨタ自動車(株)	265	0.5%	323	0.6%	58 21.9%
日野自動車(株)	190	0.4%	196	0.3%	6 3.2%
ヤマハ発動機(株)	74	0.1%	84	0.1%	10 13.5%
その他	2,988	5.5%	2,928	5.3%	▲ 60 ▲ 2.0%
合計	53,483	100.0%	57,000	100.0%	3,517 6.6%

POINT

- ホンダ系列向け
 - ・国内、中国における生産減少
- 日産系列向け
 - ・北米における生産増加
- 富士重系列向け
 - ・北米における生産増加
- 三菱系列向け
 - ・国内、タイにおける生産減少
- マツダ系列向け
 - ・国内における生産増加



本資料の内容に関する一切の権利は株式会社今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

10

事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業



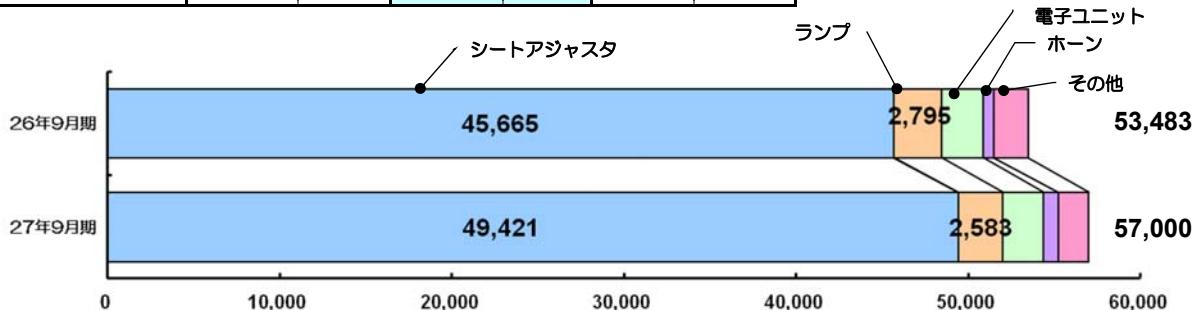
■機種別 売上高構成

百万円	前期	当期		増減	
		構成比	構成比	額	率
(1)機構部品	45,693	85.4%	49,441	86.8%	3,748 8.2%
シートアジャスタ	45,665	85.4%	49,421	86.7%	3,756 8.2%
ウインドレギュレータ	28	0.1%	20	0.1%	▲ 8 ▲ 28.6%
(2)電装部品	5,798	10.8%	5,805	10.1%	7 0.1%
ランプ	2,795	5.2%	2,583	4.5%	▲ 212 ▲ 7.6%
電子ユニット	2,402	4.5%	2,358	4.1%	▲ 44 ▲ 1.8%
ホーン	600	1.1%	864	1.5%	264 44.0%
(3)その他	1,991	3.8%	1,754	3.1%	▲ 237 ▲ 11.9%
合 計	53,483	100.0%	57,000	100.0%	3,517 6.6%

POINT

■主力製品であるシートアジャスタの北米向け生産が増加いたしました

■ランプは三菱系列向けの減産により減少いたしました



本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

11

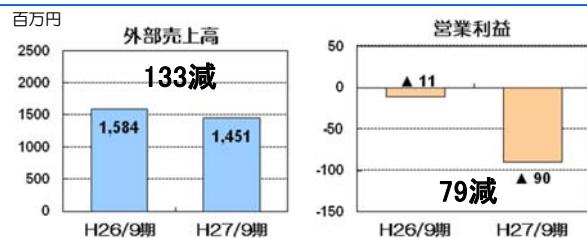
事業の種類別セグメント：その他の事業



■ワイヤーハーネス関連事業

POINT

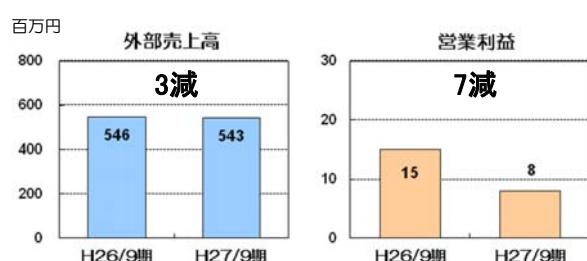
受注の減少と労務費改善活動の遅れにより減収減益となりました



■福祉機器関連事業

POINT

ACSIVEの增收効果はあるものの、電動車いすの生産減少により売上は横ばい、またACSIVE販売強化の一時的な費用増により減益となりました



本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

12

■所在地別売上高構成

百万円	国内	北米	アジア	連結
外部売上高	H27/9期	23,155	22,581	13,257
	H26/9期	23,726	15,499	16,389
	増減額	▲ 571	7,082	▲ 3,132
営業利益	H27/9期	395	19	1,003
	H26/9期	133	▲ 234	2,121
	増減額	262	253	▲ 1,118

所在地別 外部売上高



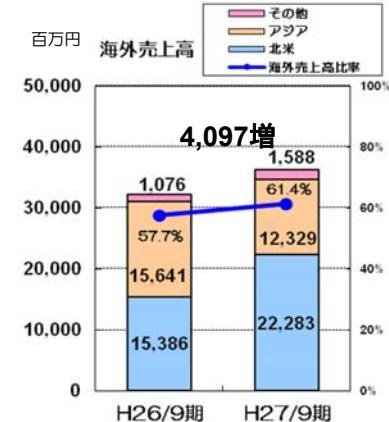
■海外売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
H27/9期	22,794	22,283	12,329	1,588	58,995
H26/9期	23,510	15,386	15,641	1,076	55,614
増減額	▲716	6,897	▲3,312	512	3,381

*海外売上高とは顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

POINT

- 所在地別売上高は北米の割合が大きく増加いたしました
- 海外売上高は北米が増加、アジアが減少しております



本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

所在地別セグメント

■国内

POINT

本田、日産系列向けの生産が減少したため減収となりましたが、原価低減活動などの効果により増益となりました



営業利益

262増



■北米

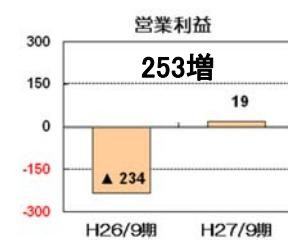
POINT

日産、富士重系列向けの生産増加により黒字化いたしました



営業利益

253増



■アジア

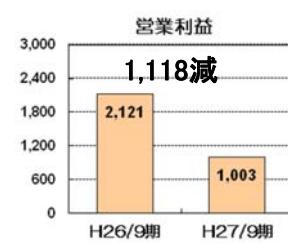
POINT

中国、タイでの生産減少が影響し減収減益となりました



営業利益

1,118減



本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

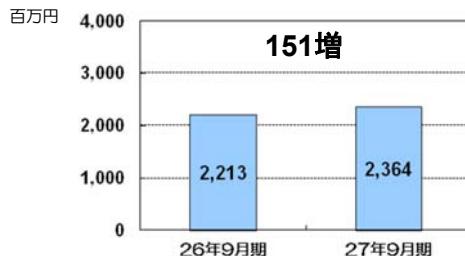
設備投資・減価償却費



■設備投資

POINT

設備投資は抑制しておりますが、中国で新規立上りのための投資が増加しました

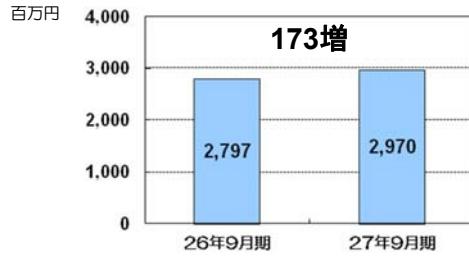


	26年9月期 (実績)	27年9月期 (実績)	前期比増減
日本	1,334	1,160	▲ 174
北米	234	117	▲ 117
メキシコ	240	176	▲ 64
中国	211	612	401
タイ	129	211	82
フィリピン	49	10	▲ 39
台湾	0	11	11
インド	12	25	13
インドネシア	-	39	2
合計	2,213	2,364	151

■減価償却費

POINT

新規立上り製品の生産設備の導入に伴い償却費が増加しました



	26年9月期 (実績)	27年9月期 (実績)	前期比増減
日本	1,518	1,440	▲ 78
北米	737	874	137
メキシコ	35	49	14
中国	209	260	51
タイ	185	232	47
フィリピン	60	49	▲ 11
台湾	14	20	6
インド	36	39	3
インドネシア	-	2	2
合計	2,797	2,970	173

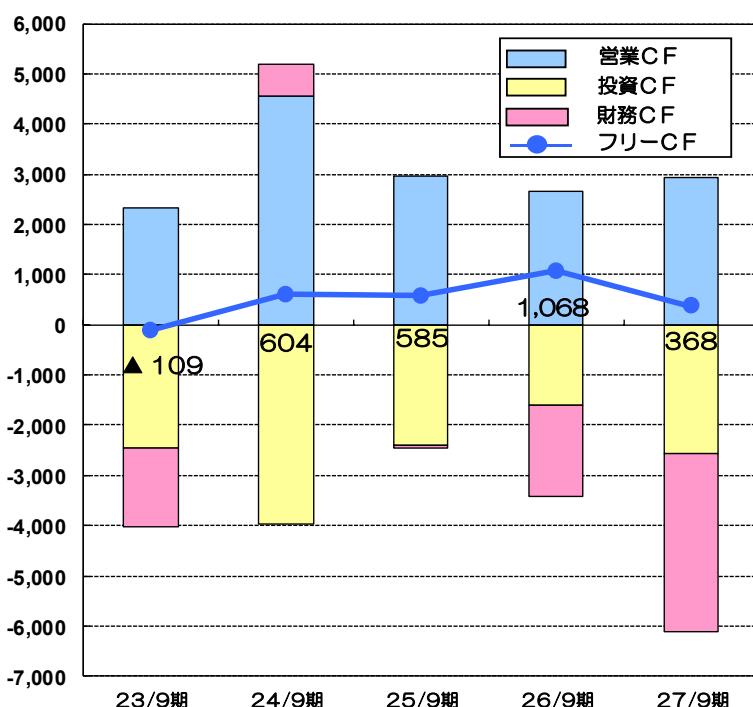
本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

15

キャッシュ・フロー



百万円



POINT

- 投資CFは有形固定資産の取得に対する支払いが増加しました
- 財務CFは借入金の返済により減少しました
- フリーCFは368百万円となりました

本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

16

II. 平成28年3月期 業績見通し概要

本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

17

28/3期 業績予想

百万円	前期実績 (H27年3月期)	当期期初予想 (H28年3月期)	当期修正予想 (H28年3月期)	11/9付	
				増減額	増減率
売 上 高	111,998	112,000	120,000	8,000	7.1%
営 業 利 益	3,298	3,600	3,600	-	-
経 常 利 益	4,024	3,700	3,700	-	-
※ 当 期 純 利 益	927	1,500	1,500	-	-
1 株当たり純利益	47.75円	73.17円	73.17円	-	-

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

POINT

北米での生産増加や為替影響などにより増収を見込みますが、利益は北米の収益性が厳しく、収益性の高いアジアが不透明な状況にあり据え置いております。

ご参考

USD 28/3期 120.0円 27/3期 105.79円 14.21円の円安
CNY 28/3期 19.33円 27/3期 17.18円 2.15円の円安
THB 28/3期 3.59円 27/3期 3.26円 0.33円の円安

本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

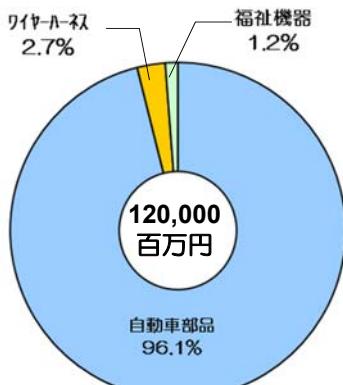
18

百万円		自動車部品 関連事業	ワイヤーハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	連結
外部売上高	H28/3期 (修正予想)	115,410	3,200	1,390	120,000
	H27/3期	107,410	3,320	1,266	111,998
	増減額	8,000	▲ 120	124	8,002
営業利益	H28/3期 (修正予想)	3,410	60	120	3,600
	H27/3期	3,129	56	91	3,298
	増減額	281	4	29	302

POINT

自動車部品関連事業につきまして、増収増益を見込んでおります

事業の種類別売上高構成



■自動車部品関連事業



本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

28/3予想 事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

■得意先系列別 売上高構成

百万円	前期 構成比	当期 構成比		当期 構成比				前期比	
		(期初予想)	構成比	(修正予想)	構成比	増減	率	増減	率
本田技研工業(株)	38,968 36.3%	35,380	32.9%	39,230	34.0%	3,850	10.9%	262	0.7%
日産自動車(株)	24,082 22.4%	24,980	23.3%	28,220	24.5%	3,240	13.0%	4,138	17.2%
富士重工業(株)	12,156 11.3%	14,320	13.3%	15,160	13.1%	840	5.9%	3,004	24.7%
三菱自動車工業(株)	13,816 12.9%	13,340	12.4%	13,400	11.6%	60	0.4%	▲ 416	▲ 3.0%
マツダ(株)	5,591 5.2%	5,900	5.5%	5,900	5.1%	0	0.0%	309	5.5%
いすゞ自動車(株)	3,439 3.2%	3,470	3.2%	3,470	3.0%	0	0.0%	31	0.9%
スズキ(株)	2,930 2.7%	2,110	2.0%	2,110	1.8%	0	0.0%	▲ 820	▲ 28.0%
ダイハツ工業(株)	977 0.9%	930	0.9%	930	0.8%	0	0.0%	▲ 47	▲ 4.8%
トヨタ自動車(株)	535 0.5%	910	0.8%	910	0.8%	0	0.0%	375	70.1%
日野自動車(株)	383 0.4%	430	0.4%	430	0.4%	0	0.0%	47	12.3%
ヤマハ発動機(株)	129 0.1%	150	0.1%	150	0.1%	0	0.0%	21	16.3%
その他	4,399 4.1%	5,490	5.2%	5,500	4.8%	10	0.2%	1,101	25.0%
計	107,410 100.0%	107,410	100.0%	115,410	100.0%	8,000	7.4%	8,000	7.4%

POINT

【前期実績と修正予想の比較】

- ホンダ系列向け
 - ・北米における生産増加
- 三菱系列向け
 - ・タイにおける生産減少

- 日産系列向け
 - ・北米、中国における生産増加
- マツダ系列向け
 - ・国内における生産増加

- 富士重系列向け
 - ・北米、国内における生産増加

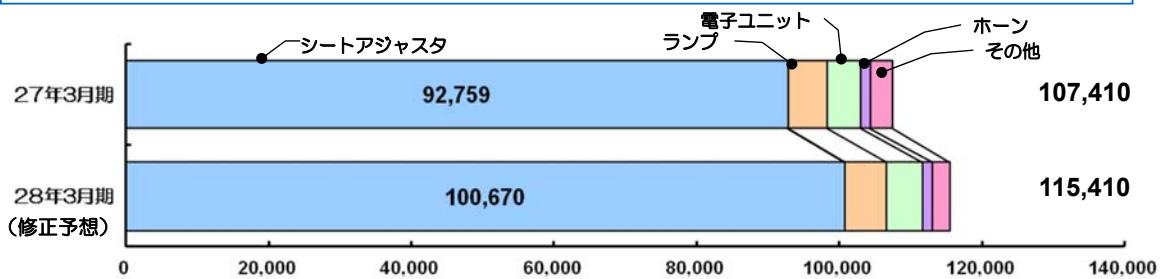
本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

■機種別 売上高構成

百万円	前期	当期		当期		増減	率	前期比		
		(期初予想)	構成比	(修正予想)	構成比			増減	率	
(1)機構部品	92,809	86.4%	92,720	85.5%	100,720	87.2%	8,000	8.6%	7,911	8.5%
シートアジャスタ	92,759	86.4%	92,670	85.5%	100,670	87.2%	8,000	8.6%	7,911	8.5%
ウインドレギュレータ	50	0.0%	50	0.0%	50	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
(2)電装部品	11,476	10.7%	12,270	11.2%	12,270	10.6%	0	0.0%	794	6.9%
ランプ	5,468	5.1%	5,810	5.3%	5,810	5.0%	0	0.0%	342	6.3%
電子ユニット	4,709	4.4%	5,050	4.6%	5,050	4.4%	0	0.0%	341	7.2%
ホーン	1,297	1.2%	1,410	1.3%	1,410	1.2%	0	0.0%	113	8.7%
(3)その他	3,125	2.9%	2,420	3.3%	2,420	2.2%	0	0.0%	▲ 705	▲ 22.6%
合 計	107,410	100.0%	107,410	100.0%	115,410	100.0%	8,000	7.4%	8,000	7.4%

POINT

期初予想に対しシートアジャスタの売上が増加する見込みです



本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

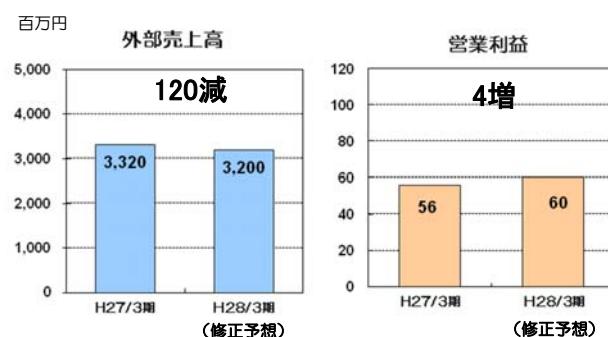
21

28/3予想 事業の種類別セグメント：その他の事業

■ワイヤーハーネス関連事業

POINT

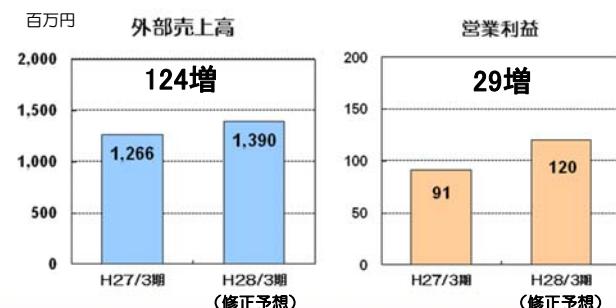
航空機関連の生産減少の影響から減収。
利益は労務費改善活動を進めることで若干の増益を見込んでおります。



■福祉機器関連事業

POINT

無動力歩行支援機「ACSIVE」の販売強化により増収増益を見込んでおります



本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

22

■所在地別売上高構成

百万円	国内	北米	アジア	連結
外部売上高	H28/3期 (修正予想) 47,090	46,770	26,140	120,000
	H27/3期 47,456	33,876	30,665	111,998
	増減額 ▲ 366	12,894	▲ 4,525	8,002
営業利益	H28/3期 (修正予想) 1,360	420	2,300	3,600
	H27/3期 863	▲ 828	3,217	3,298
	増減額 497	1,248	▲ 917	302

所在地別 外部売上高



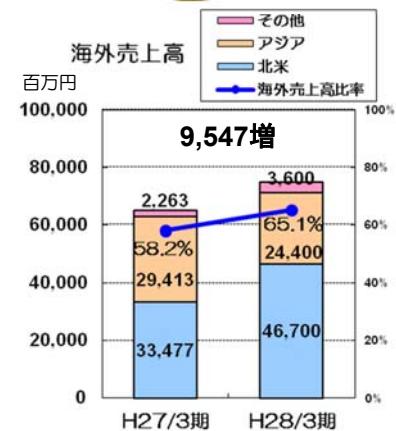
■海外売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
H28/3期 (修正予想)	45,300	46,700	24,400	3,600	120,000
H27/3期	46,845	33,477	29,413	2,263	111,998
増減額	▲ 1,545	13,223	▲ 5,013	1,337	8,002

*海外売上高とは顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

POINT

- 売上高の所在地別割合は北米の売上が増加し39.0%になると予想
- 海外売上高は北米が増加、アジアで減少と予想



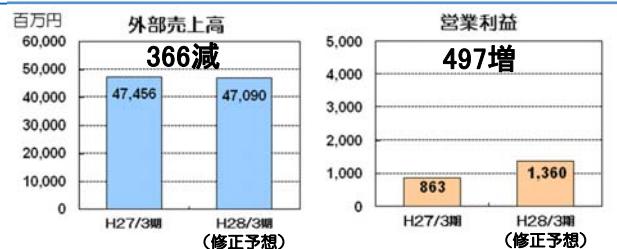
本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

28/3予想 所在地別セグメント情報

■国内

POINT

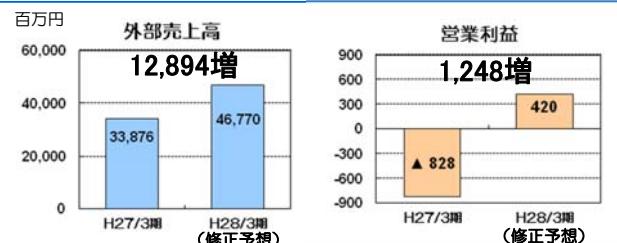
生産減少により減収となります
が原価低減活動により増益と見込んで
おります



■北米

POINT

生産増加により増収増益と見込んで
おります



■アジア

POINT

中国・タイなどが不透明な状況に
あり減収減益と見込んでおります

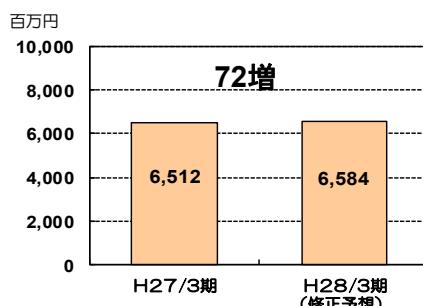


本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

■設備投資

POINT

設備投資は前期並みと予想しております

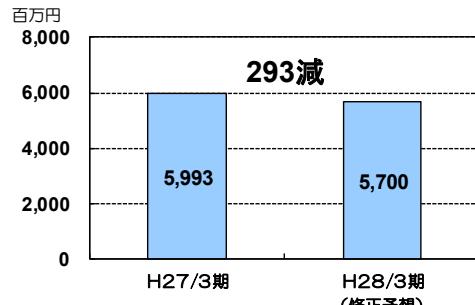


	H27/3期 (実績)	H28/3期 (修正予想)	前期比増減
日本	3,056	2,853	▲ 203
北米	1,829	1,284	▲ 545
メキシコ	442	589	147
中国	740	905	165
タイ	323	789	466
フィリピン	89	60	▲ 29
台湾	0	24	24
インド	27	37	10
インドネシア	3	42	39
合計	6,512	6,584	72

■減価償却費

POINT

日本と北米での投資の抑制にともない
減価償却費の減少を見込んでおります



	H27/3期 (実績)	H28/3期 (修正予想)	前期比増減
日本	3,064	2,738	▲ 326
北米	1,739	1,663	▲ 76
メキシコ	75	108	33
中国	512	493	▲ 19
タイ	395	469	74
フィリピン	108	111	3
台湾	22	34	12
インド	74	78	4
インドネシア	0	6	6
合計	5,993	5,700	▲ 293

本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

III. 今後の経営方針

Dream 2020

【フェーズ1】
フェーズ1目標
連結売上高 1,000億円
2013年度実績 1,103億円
2014年度実績 1,120億円

フェーズ1(2012~2014年度)

- ①研究開発の強化
- ②人材育成とグローバル活用
- ③グローバルでの事業拡大
- ④国内事業の再編
- ⑤非自動車領域の事業開発
- ⑥グローバルマネジメント確立

【フェーズ2】
2017年度目標
営業利益率 5.5%

【フェーズ3】
2020年度目標
連結売上高 1,800億円
営業利益率 7%



フェーズ3(2018~2020年度)

連結売上高1,800億円、
営業利益率7%を達成
させるための展開活動

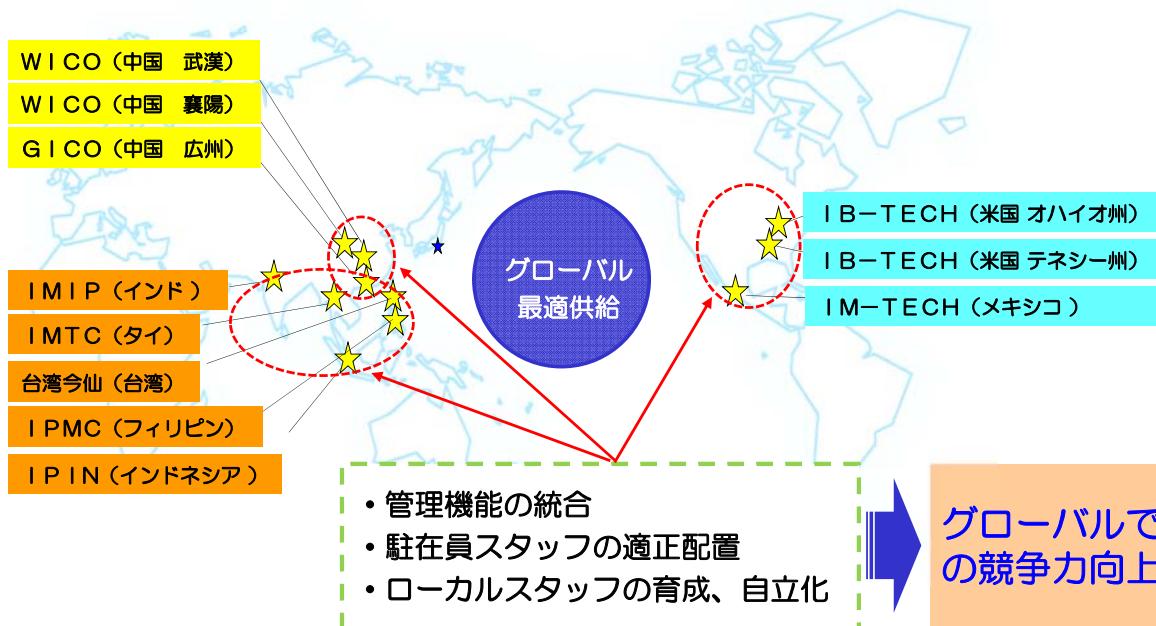
本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

27

Dream2020 フェーズ2の取り組み

グローバル拠点最適化 ...

現地化を基本的な考え方とし、リソース有効活用
の観点からグローバル最適供給を推進する



本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

28

北米事業の収益体制強化に向けた取り組み

IB-TECH (米国)

オハイオ工場

テネシー工場

—管理領域のスリム化—

- ・管理機能の統合
- ・ローカルスタッフの育成
- ・駐在員配置の最適化

IM-TECH (メキシコ)

—メキシコ拠点の有効活用—

- ・安価な労働コストを活かし北米事業全体での原価低減に貢献

日本今仙

- ・専任チームによる北米への最適供給体制の検討

中長期での収益体质強化を目指す

本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

29

「The 44th TOKYO MOTOR SHOW 2015」出展

<ブースコンセプト>

「“Wow, so good!” 一人にやさしく、もっと便利に、安全にー」

“よい品”を通じ、“笑顔と感動”を世の中へ届けるため、「環境」「安全」「快適・利便」を追求した開発製品を紹介致しました。

安全運転支援システム

■わき見・居眠りをカメラで検知し、シートを振動させて危険を知らせる

■3D View視界を提供

ドライバーに安全で快適な運転を提供



新技術のアピールによる新規受注に向けた拡販活動を展開

本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

30

将来の成長に向けた人材育成の取り組み

<産学連携>



- 大学教授を講師に招き、最新の専門分野に特化した研究情報の勉強会を開催
- 大学との交流を深めて最新・最先端の情報や技術を共有

<その他の人材育成>

- グローバル教育の充実
- ダイバーシティの重視
- 海外スタッフとの人材交流



グループ全体のレベル底上げを図る

本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

31

Dream2020 フェーズ2の取り組み内容

**フェーズ2
(2015~2017年度)**
<重点展開方針>

技術革新

国内事業の再構築

グローバル拠点最適化

人材育成

<重点展開方針からの取り組み内容>

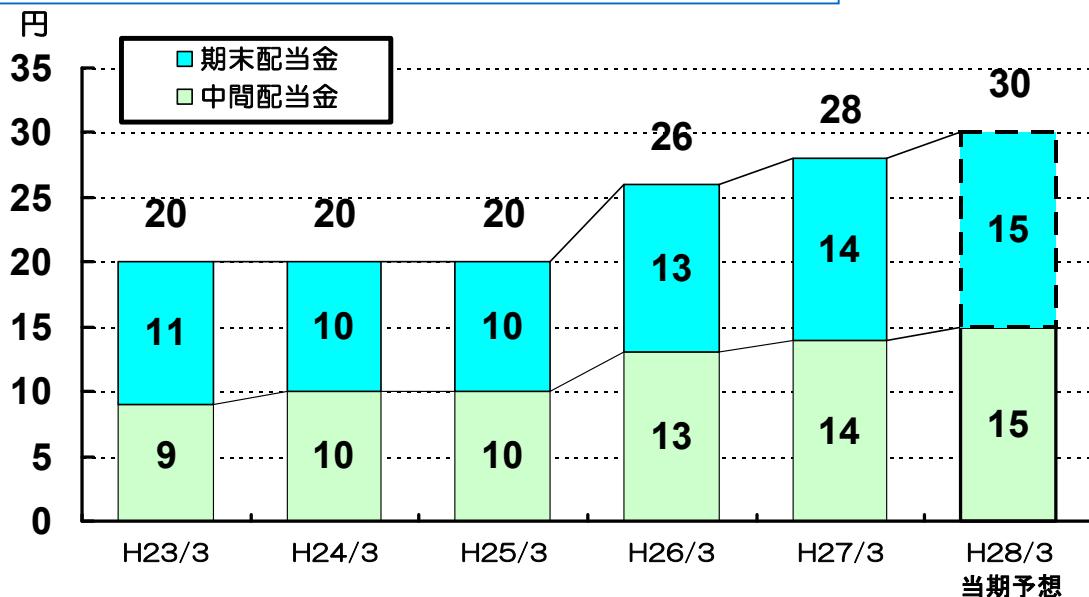
- グループ内のシナジーを活かした開発
 - i-PAL開発
 - ACSIVE（グッドデザイン賞受賞）
 - 目視検査工程の自動化
- グローバルでの管理機能の強化
 - 海外拠点の自立化推進
 - 海外拠点の経営機能強化
 - 部品供給体制の見直し
- 各種教育の充実
 - 役職者教育、新入社員教育の充実
 - 海外スタッフとのネットワークの構築

本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

32

POINT

前期から増配となる年30円を予定しております



本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、記述が現時点での可能性に基づいた推測であり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

33

(ご参考) IRインフォメーション

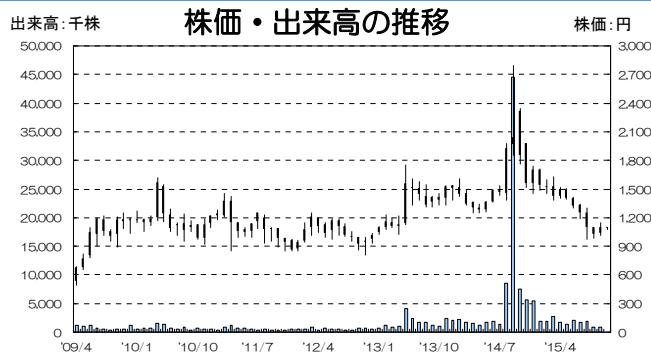
今後のスケジュール

2/8（月）

第3四半期決算発表予定

※そのほか、今仙グループの最新情報をWEBにて配信しております

<http://www.imasen.co.jp>



IRに関するお問い合わせ先

株式会社今仙電機製作所
グローバル経営企画部 経営企画課
IR担当
TEL 0568-67-1517
<http://www.imasen.co.jp/ir.html>

本資料の内容に関する一切の権利は株今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、記述が現時点での入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

34